

文化・芸術のまち



薩摩川内

本市は、古くから育まれた歴史とともに、文化・芸術で活躍された先人たちが多く輩出しており、先人たちに続くようにと、多くの子どもたちが日々学び、活動しています。
今回は、そうした各学校の活動などについて紹介します。

平佐西小学校吹奏楽部

私たち平佐西小学校吹奏楽部は、2年生から6年生までの計32人で、「One For All All For One」を合言葉に、明るく楽しく活動しています。

昨夏の「第62回鹿児島県吹奏楽コンクール小学校の部」において金賞を受賞し、九州大会出場の切符を手にしました。「第62回九州吹奏楽コンクール小学校の部」でも金賞を受賞し、21団体中、2位の評価をいただきました。

コンクール以外でも、学校行事や地域のイベントなどで演奏させていただいています。演奏の際には、日頃お世話になっている皆さんへの感謝の気持ちを込め、皆さんに喜んでいただくこと、自分たちも楽しむことを目標としています。

今後は、3月4日に行われる「第29回平佐西小学校吹奏楽部定期演奏会」に向け、少しでも良い演奏ができるように努めています。



うに練習を重ねていきます。そして、音楽を通して、一人一人の心の成長も大切にしていきます。

川内中央中学校吹奏楽部

私たち川内中央中学校吹奏楽部は、「雲外蒼天」情熱が夢を叶える」を合言葉に、3年生が引退した現在は、25人の部員で日々練習に励んでいます。

昨年度から2年連続で県代表として九州吹奏楽コンクールへの出場を果たしました。また、市民運動会や産業祭&JAフェスタなど、地域のイベントでも楽しく演奏させていただきました。

音楽面ではもちろんのことですが、部員全体の信頼関係や、一人一人が常に向上心を持つことを大切にしています。聴いてくださる方々を感動させ、笑顔にできるように、何事にも100%で取り組んでいます。

目標に向かって練習していく中で、常に支えてくださる地域の方々や保護者の応援に励まされるよう、感謝の気持ちを込めて活動していきます。



祁答院中学校吹奏楽部

私たちは、中学校に入学して初めて吹奏楽に出会い、吹奏楽を通して音楽の良さを知りました。音楽によってつながることの素晴らしさを部員一同、また、地域の方々とも共有しながら、「旅芸人的吹奏楽部」を目指して活動しています。

「旅芸人的」というのは、演奏・演技はもちろんのこと、移動、運搬、舞台設営、演出などをみんなで協力し、大衆（地域の皆さん）に愛される活動を続けることを目指しており、そのように称しています。

私たちの活躍は、色々な方々に支えられ成り立っています。特に、保護者



会の皆さんの機動力、これがすごい！いつもありがとうございます。

吹奏楽部は、「音楽」を通してさまざまな体験をしながら、人と人との関わり大切さを再認識するとともに、人として成長できる場であると思っています。今後も音楽の力を借りて、私たちらしく、さまざまなアイデアを駆使し、共に楽しんでいこうと思っています。

入来小学校ジュニア歴史ガイド

入来小学校ジュニア歴史ガイドは、ふるさとを愛する、心豊かな児童の育成を目的として発足し、平成27年10月の「国民文化祭 心の川柳大会」でデビューしました。

本校のジュニア歴史ガイドは、事前研修・説明分担・リハーサル・ガイド当日という流れで活動しています。

4月の事前研修では、3年生以上の全児童が、入来麓伝建地区保存会会員の皆さんから入来の歴史を、また、保護者のバスガイドの方からおもてなしの心を学び、ガイド当日に備えます。

ガイド当日は、入来麓伝建地区保存会とPTAから寄贈された法被や、川内よさこいライオンズクラブから寄贈された陣羽織を身に着けます。

平日は、学年ごとに、お飯屋馬場・旧増田家住宅・清色城跡・茅葺門を、また休日には、毎回10人以上のガイド

が熱心な説明を行っています。

発足後、延べ577人の児童が、41回、3703人の観光客などへの説明や活動発表を行いました。（平成29年12月5日現在）

児童は、外国の方を含む、幅広い世代の方に説明するので、活動を通じて自信を付け、物おじしなくなり、積極的にもなりました。昨年6月には、「公益社団法人日本教育会第7回教育実践顕彰会長賞（最高賞）」を受賞し、児童・職員・保護者・地域住民ともに大きな喜び・励みとなりました。

今後は、歴史と伝統ある入来のことをさらに学習し、観光客の皆さんに「入来に来てよかった」と感動してもらえようという説明ができるよう、さらに努力を重ねたいと思います。



文化財少年団で郷土の歴史に触れてみよう

本市では、未来を担う子どもたちに、文化財に触れる機会をつくり、ふるさとの魅力を再発見してもらおうと、平成19年度から毎年文化財少年団員を募り、体験活動などを行っています。小学4年生から中学3年生までを対象でこの10年間で約200人の子どもたちが参加しました。

今年度は、県内に3カ所ある重要伝統的建造物群保存地区のうち、出水麓武家屋敷群内にある歴史センターや公開施設を訪ね、入来麓武家屋敷群との違いを学びました。また、東郷文弥節人形浄瑠璃保存会の方々の手ほどきを受けながら人形操作を学ぶなど、多種多様な取り組みを行いました。

今後も活動を継続しながら、子どもたちに郷土の歴史や文化に関心を持ってもらえるよう取り組んでいきます。

平成30年度も文化財少年団員を募集しますので、ぜひ参加ください。募集についての詳細は、決まり次第、『広報薩摩川内』紙面や市ホームページ上でお知らせします。



【問合せ】本庁文化課文化財グループ
☎(23)51111(内線5233)